

TOYOTETSU



スローガン

トヨタブランド 輝く信頼 世界で飛躍

当社は創業以来、「愚直に、地道に、徹底的に」を行動の原点とし「お客様第一、安全第一、品質第一」を貫くことで国内外において鋼板・樹脂の自動車プレス部品メーカーとしての地位を確立してまいりました。これもひとえにお客様をはじめ、お取引先の皆様のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

そして現在の厳しい経営環境も、グローバル競争を勝ち抜けるだけの企業体質へと強化するチャンスであり、新たな成長に向けて、全社員が力を合わせ大胆かつスピーディーに改革に挑んでいます。私たちはこれからも、全世界に展開するグループ会社と共に、ものづくりを通じ社会や地球と調和の取れた、より良い社会の発展に貢献していきます。

今後とも皆様の一層のご指導ご支援をいただけますようお願い申し上げます。

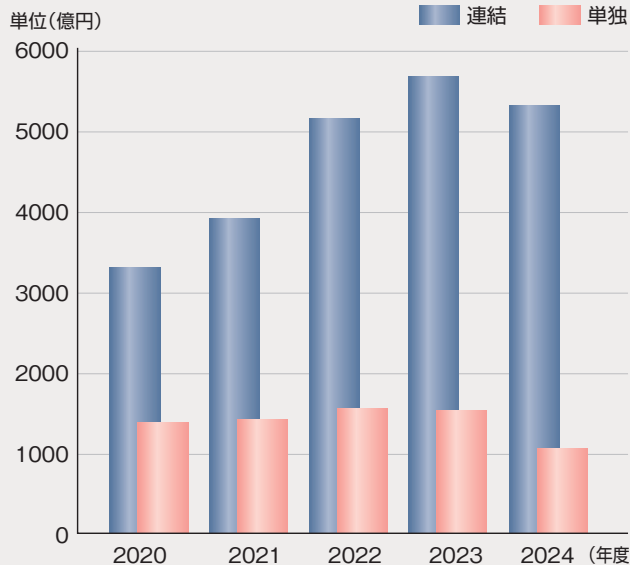


取締役社長 坂元康彦

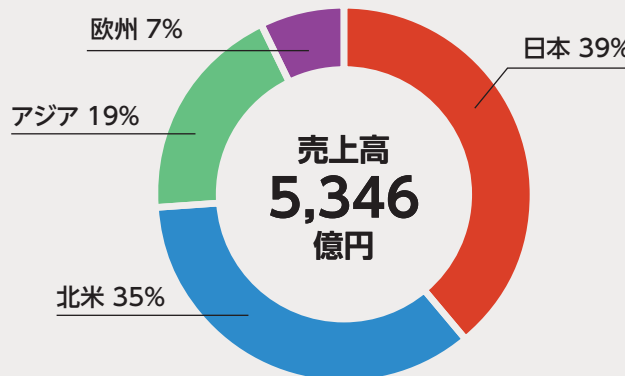
会社概要

商号 豊田鉄工株式会社
 創立 1946年2月27日
 代表者 取締役社長 坂元康彦
 資本金 22億2,300万円
 売上高 【連結】 5,346億円
 【単独】 1,079億円 (2025年3月期)
 従業員数 【連結】 15,861名
 【単独】 2,590名 (2025年3月末時点)
 主な取引先 トヨタ自動車 ダイハツ工業
 日野自動車 SUBARU
 マツダ 本田技研工業
 日産自動車 スズキ
 HYUNDAI・KIA トヨタ自動車九州
 トヨタ自動車東日本 トヨタ車体
 トヨタ紡織 アイシン
 林テレンプ デンソー
 豊田自動織機
 事業内容 自動車部品製造
 プレス・樹脂金型、溶接設備設計製作 他
 関連会社数 22社 (国内6社、海外16社)
 主な認証 健康経営優良法人2025 ホワイト500
 自然共生サイト(トヨタツの森)

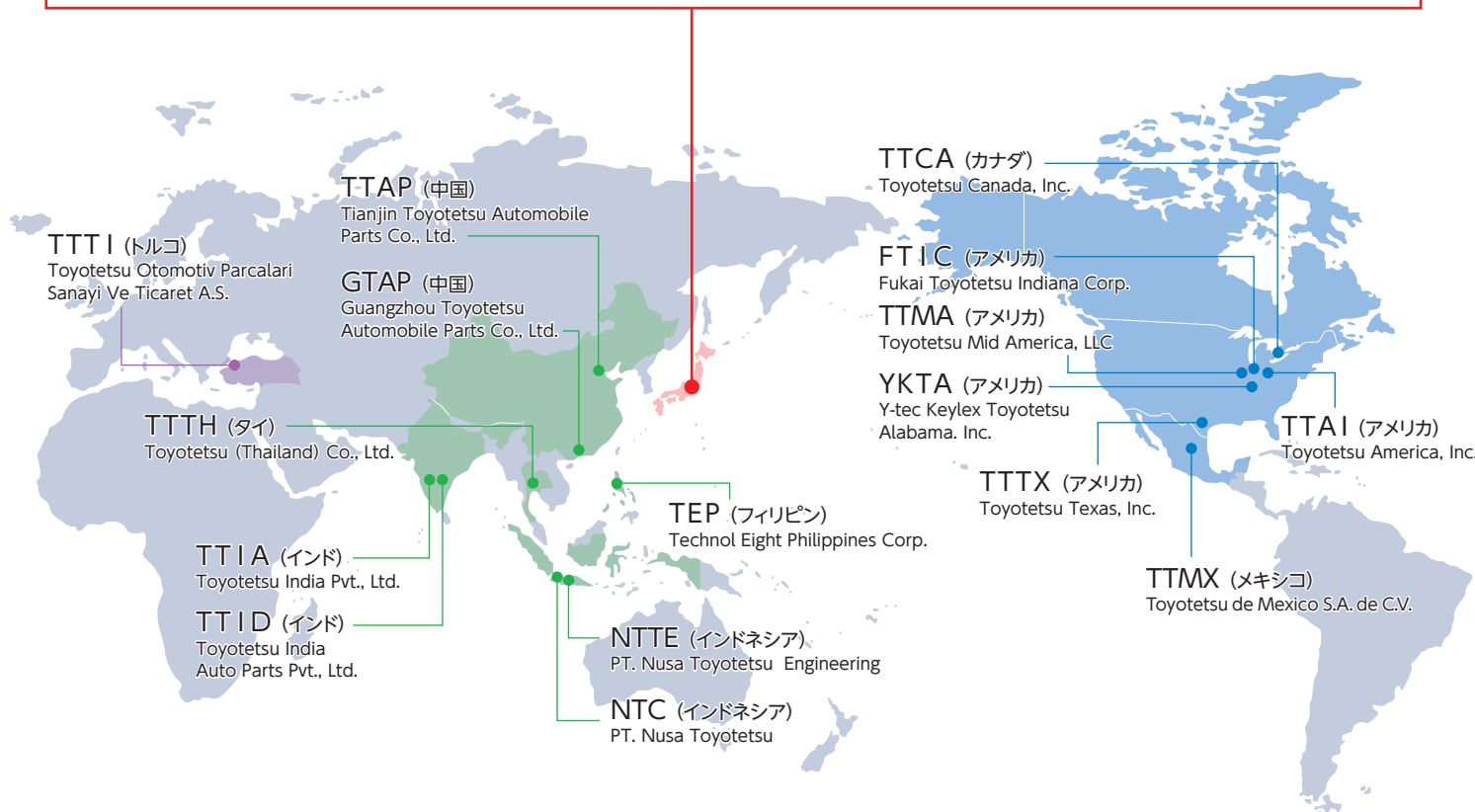
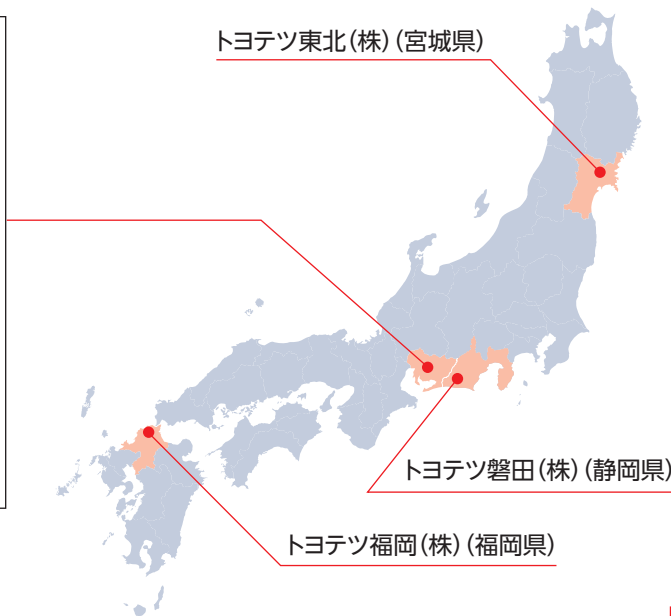
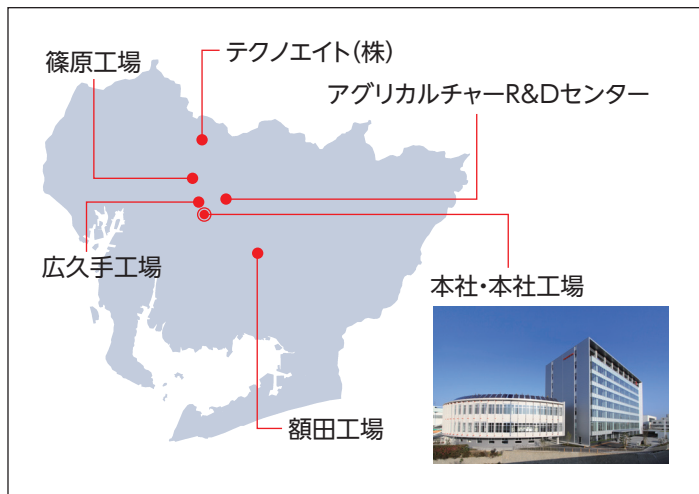
売上高推移



地域別売上高比率



主要拠点 国内3極 世界4極体制



トヨタテツはSDGs・CN達成に向けて取り組んでまいります

中期目標

CO₂排出量

2030年 ▲52%(2019年度比)
2050年 カーボンニュートラル

部品設計(軽量化など)から、製造・出荷まで工程スルーでCO₂排出量・廃棄物削減を推進するとともに、環境保全や地域貢献活動を通じて、SDGs・CNを達成する社会構築をめざしています。



詳細はこちら

トヨタテツの森

トヨタテツの森は環境省「自然共生サイト」に2024年3月に認定され、OECM国際データベースに登録されました。

※OECM…自然保護地域ではない地域において、長期の生物多様性の保全に効果的な方法で管理されている地域



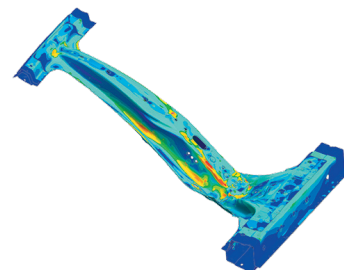
詳細はこちら

トヨタのものづくり

創業以来、一貫して自動車部品生産に取り組み、培った技術と知恵で魅力ある製品を開発し、トヨタ生産方式により安定・高品質な製品を供給します。

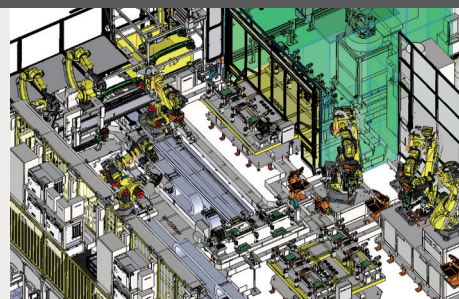
構造提案

CADで構造検討・作図し、CAEや試作品での実機による性能検証まで一貫して自社にて行い、その結果を基に設備製作から量産までを担います。軽量化や低コストといった車両開発のニーズに合わせた最適解を具現化し、理論とデータに基づいた高い信頼性を持つ製品構造をご提案します。



生産準備

安定・高品質かつ安価な量産を続けるため、革新的な生産技術を開発し短納期で生産設備をグローバルに供給する生産準備体制を構築しています。国内の広久手エリアでは金型と組立設備を社内製作する2つの工機工場を整備しプレス・組立で一気通貫の高効率な生産準備が可能で、最新の鋼板・樹脂加工技術や自動化などをいち早く採用し、競争力の高い量産ラインを実現できます。



加工技術

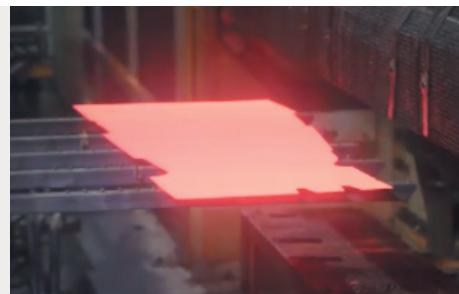
超ハイテン冷間プレス加工

高い強度を持つ鋼板は、成形性や精度のコントロールが難しいという課題があります。これらの課題を克服する独自の加工技術と、グローバルで3000t級のトランスファープレスを導入することで、超ハイテンと呼ばれる1180MPa~1470MPaの引張強度を持つ部品を多数採用頂いています。



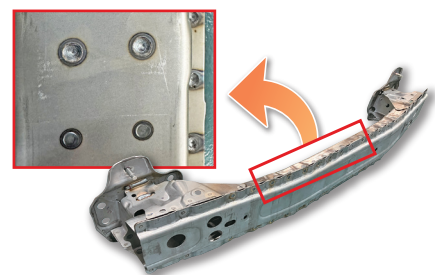
ホットスタンプ

専用の材料を約900℃まで加熱し、プレス加工と同時に金型で保持・急冷し、材料に焼き入れをする事により、1.5GPa~2GPa級の高強度な製品を作る技術です。特に2GPa級の製品は、現在のプレス部品材料の中では最も高い強度となっており、車両の軽量化に大きく貢献しています。



レーザー接合

長焦点レーザーによるLSW(Laser Screw Welding)は、従来のスポット溶接に対し、省スペースかつ高い生産性を誇る技術です。当社ではバンパーリンフォースで初の量産化に成功しました。特色を活かして更なる部品への適用に取り組んでいます。



ボデー部品

01 バンパーリンフォース

Bumper R/F



車両の前後で衝突からボデー骨格や乗員を保護する部品です。冷間超ハイテンやホットスタンプで高強度化しています。(YARISで1470MPa冷間超ハイテンを世界初採用)



02 クラッシュボックス

Crash box



車両の前後に配置される箱型の部品です。軽衝突時に車体へのダメージを軽減する役目があります。

03 樹脂製ラジエーターサポートアッパー

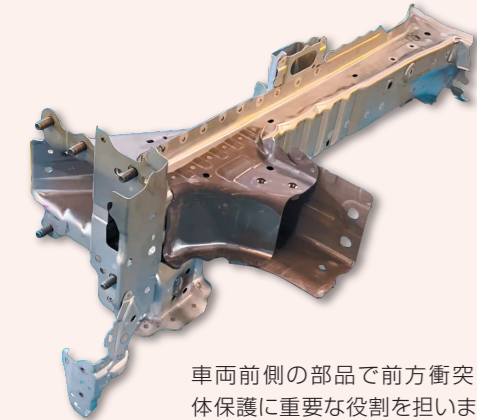
Resin radiator support upper



ボデーの最前部に配置され、ラジエーターやヘッドランプなどを支えています。樹脂化により吸気ダクトの機能を取り込みながら軽量化を実現しています。

04 フロントサイドメンバー

Front side member



車両前側の部品で前方衝突時の車体保護に重要な役割を担います。大きく複雑なアッセンブリーを当社の接合技術で高品質に生産します。

05 センターボデーピラーリンフォース

Center body pillar R/F

側面衝突時の乗員保護に重要な役割を持つ部品です。冷間超ハイテンやホットスタンプで高強度化しています。(LEXUS RXでは2GPaホットスタンプ、LANDCRUISER 250では1470MPa冷間超ハイテンを世界初採用)



06 ロッカーアウター

Rocker outer



前方、側面からの衝突時に車体を守る部品です。冷間超ハイテンが採用されます。

シャシー部品

07 フロントサスペンションメンバー

Front suspension member



フロントタイヤ間に配置され、エンジンやサスペンションなどを支える部品です。自動車の安定した走りや乗り心地のため、厚板のプレス・溶接技術で強度と剛性を持たせています。

08 フロントサスペンションアーム

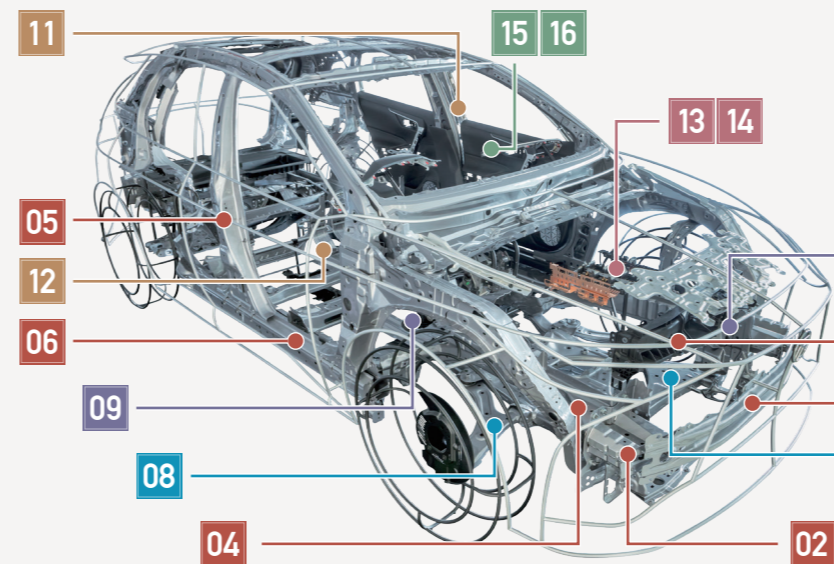
Front suspension arm

タイヤの位置や向きを決めている重要な部品です。厚板で難成形の形状でありながらハイテンを使用し高い強度と剛性を持たせています。



お客様の期待に応える革新的で高品質な製品とサービスを常に提供します。

約30,000点にもよる自動車部品。トヨタはこうした自動車部品の中で、鋼板・アルミ・銅・樹脂を中心とした部品を手がけています。部品メーカーとして培った世界NO.1のものづくりを通じて、次世代のクルマづくりの一翼を担うべく、さまざまな分野の製品の開発に取り組んでいます。



機能部品

09 ブレーキペダル

Brake pedal

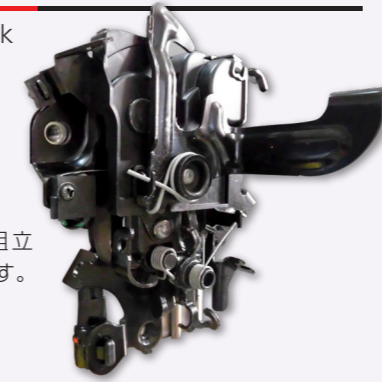
ブレーキシステムのインターフェースです。踏力をレバー比で増幅させ車両制動力を確保します。実績豊富で安心できる製品を自社で設計開発しています。



10 フードロック

Hood lock

ボンネットを保持するための重要な保安部品です。構成部品が多く組立精度が求められます。



アルミ部品

※グループ会社のテクノイト生産

11 ドアリンフォース

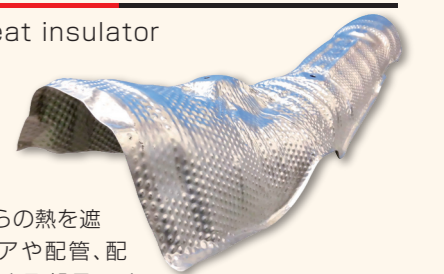
Door R/F



ドアやボンネットなど蓋物と呼ばれる部品にアルミのリンフォースを採用することで更なる軽量化が可能です。アルミの各種接合技術も対応可能です。(TOXカシメ、FSWなど)

12 ヒートインシュレータ

Heat insulator



排気管からの熱を遮断しフロアや配管、配線を保護する部品です。エンボス加工により薄肉化(最小板厚0.3mm)を実現、軽量化に貢献しています。

電子部品

13 センサーハウジング

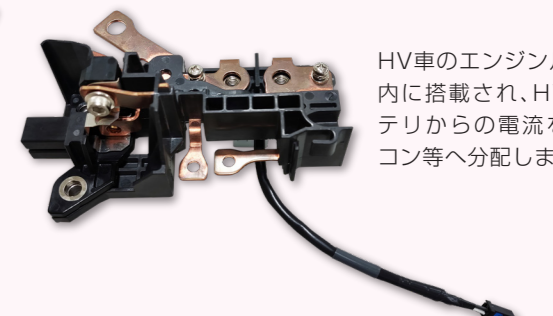
Sensor housing



インバーターからモーターへ高電圧、大電流を出力する部品です。インバーター内部の電流センサーの土台となる重要な部品です。

14 インバーターコネクター

Inverter connector



HV車のエンジンルーム内に搭載され、HVバッテリーからの電流をエアコン等へ分配します。

内装部品

15 アームレスト

Armrest



ドア内側掛付け部の内装樹脂部品です。接着剤を使用しない当社オリジナル技術「とよとつ。」で柔らかな触感と高いリサイクル性を両立させています。

16 フロントドアトリム

Front door trim



フロントドア室内側の意匠部品です。見栄えだけでなく、衝突時に乗員へのダメージを軽減する機能も備えています。

新分野

アグリカルチャー Agriculture

当社は“食”を通じて持続可能な健康社会づくりに貢献したいという思いから、2018年より完全人工光型の植物工場にてベビーリーフをはじめとした水耕栽培を開始しました。

長年培ってきた『トヨタ生産方式』を活かしたムダのない生産管理により、常に新鮮な野菜を栽培しています。クリーンルーム内の常に清潔な環境下で栽培しているため、安定的に品質の高い野菜の提供が可能です。

ベビーリーフをはじめ、「エディブルフラワー（食用花）」や、ベビーリーフを加工し長期保存できるよう工夫し制作した「飲む酢 ベビーリーフビネガー」など様々な商品を開発し販売しています。



ベビーリーフ



エディブルフラワー



飲む酢 ベビーリーフビネガー



パーソナルモビリティ Personal Mobility

誰もが自由に移動できる社会へ



いつの時代も生活する上で必要な移動。

「免許返納を考えている」「もっと手軽に移動したい」などそれぞれの悩みを無くし、もっと豊かな生活にしたい。

1人ひとりの生活に寄り添った、あなたにちょうどいい

パーソナルなモビリティを目指して

トヨタの挑戦は続きます。

コモビ
Comove

運転時にCO₂を排出しない環境にやさしい
スローモビリティ【Comove】
カーボンニュートラルに貢献する
だけでなく最高速6km/hで歩行者と同じ道を歩行者と同じ速度で移動できる為、
人との共存が可能な新たな乗り物です。
【Comove】でちょっとそこまでの移動をもっとワクワクする世界へ。

For more information
COMOVE.TRIP.AICHI

Comove
TOYOTETSU

C+walk S
シークウォークエス

C+walk T
シークウォークティー

トヨタ自動車株式会社より発売された新たな小型モビリティ。歩くように動ける3輪BEVとして、開発・設計に携わり当社にて生産を行っています。

画像提供：トヨタ自動車株式会社



豊田鉄工株式会社

TOYODA IRON WORKS CO., LTD.

本社・本社工場

〒471-8507 愛知県豊田市細谷町4丁目50番地 / TEL 0565-26-1212 FAX 0565-26-1229

Corporate Site
<https://www.tiw.co.jp>



Ver.202507-003